

ミャンマーの「姥捨山」：ジンポー語による民話テキスト*

倉部 慶太

【要旨】 本言語資料では、日本昔話「姥捨山」と類似するジンポー語によるカチン民話の本文 2 編を語釈および翻訳とともに提示する。「姥捨山」は、我が国の各地に古くから伝わる昔話・伝説である。柳田國男は日本に流布するこの昔話を「畚型」、「難題型」、「福運型」、「枝折型」の 4 つの型に分類し、前二者は外来のもの、後二者は我が国在来のものと推定する。筆者および協力者が蒐集したカチン民話は「畚型」と「枝折型」に相当する。この事実はこの昔話の起源と伝播に関する従来の説に新しい視点を与えるものである。

【キーワード】 姥捨山, 畚型, 枝折型, カチン人, ミャンマー

1 はじめに

本言語資料では、筆者および協力者がミャンマー北部におけるフィールドワークで蒐集した 1,805 話のジンポー語によるカチン人の口承資料 (大部分は民話) のうち、日本昔話「姥捨山」と類似する民話本文 2 編を語釈および翻訳とともに提示する。カチン人はミャンマー北部を中心に居住する同国有数の民族の 1 つである。カチン人は婚姻連合を中心に共通する文化・社会基盤を持ち、多かれ少なかれ 1 つの共同体をなすが、言語的には多様であり、系統的に必ずしも近くない、相互理解度の低い複数の言語を用いる言語集団からなる。言語的に多様なカチンの人々を結びつける重要な紐帯の 1 つにジンポー語がある。この言語はカチン人の間で共通語として通用しており、シナ・チベット語族チベット・ビルマ語派に属する言語である。本稿では、このジンポー語によるカチン民話を提示する。

本稿の構成は次の通りである。2 節では、本資料と関連する日本の「姥捨山」の類型と来歴、日本とカチンの昔話などに関する研究を概観し、カチンの「姥捨山」をより広いコンテキストに位置づける。3 節では、本資料の蒐集方法と調査協力者の情報をまとめる。4 節では、「姥捨山」の類話 2 編を語釈および翻訳とともに提示する。

* 本研究は JSPS 科研費 JP17H04523 の助成を受けています。本稿の執筆にあたり、匿名の査読者 2 名から有益なコメントをいただきました。記して感謝申し上げます。

2 先行研究

2.1 「姥捨山」の類型とその来歴

「姥捨山」または「親棄山」は、我が国の各地に古くから伝わる昔話・伝説である。柳田 (1970) は日本に流布するこの昔話を以下の四類型に分類し (以下の類型名は大島 1979 による)、この類型はその後広く受け入れられている (三原 1977、大島 1979; 2001; 2004: 111–66、斧原 2006; 2014、Rcider 2011)。

- 畚型：ある男が老親を畚 (もっこ) に入れ、彼の息子に片棒を担がせて、山奥に遺棄する。男が親を捨てた場所に畚を置いて帰ろうとすると、息子は自分が親を捨てる番になったらまた必要になるから畚を持って帰ると言う。息子に諭された男は親捨てを止める。
- 難題型：国王が老人を捨てよと命を出す、ある孝行者は親を家の中に隠した。その後、敵国の難題を老父の智恵で解いた男に国王は褒美を与える。
- 福運型：妻が憎むので男が老母を山奥に捨てる。老母は山の神から打出小槌を手に入れ、それをういて裕福になる。それを見た妻は男に自分を山に捨てに行かせる。しかし、宝は手に入らず、妻は死んでしまう。
- 枝折型：何らかの理由により、親も承知の上で、男は老母を背負い、山に捨てに行く。山奥へ送る道中、母が木の小枝を折ってゆくのでその理由を息子が尋ねると、お前が帰るときに迷わぬようと答えた。母の慈愛を知り、息子は以前よりも孝行するようになる。

柳田 (1970) は、前二者は外来の型とし、後二者は在来の型と推定する。「畚型」は「よほど古い頃から、支那で有名な話だつたといふことで、色々の本にも絵にも彫刻にもなつて居る」(p.295) とし、難題型は「我邦 (わがくに) へは支那から入つて来たらしいが、元の起りは印度であり、雜寶藏經といふ經文の中に、出て居るといふことまで今日ではもう判つて居る」(p.296) と述べる。一方、後二者に関しては、「多分我邦に、よほど古い頃からあつたものである」(p.295) と述べるとともに、「外国の昔話が、千年も八百年も前に、もう我邦の人たちに覚えられて居たといふことは、こちらにもそれと半分以上似かようなものが有つた為だと見ることは出来ないであらうか」(p.300) とし、外来型の昔話が日本で受容されるに際し、在来の型が「台樹」の役割を果たしたと考える。文献を遡ると、「畚型」と「難題型」は『万葉集』や『今昔物語』など中世以前の文献に、「枝折型」は『曾我物語』など中世以降の文献に確認される (南方 1918、大島 1979: 513–7、稲田編 1998: 401–6)。ただし、古くから民間に流布するものが必ず古典に記録されるとは限らない。斧原 (2006) が述べるように、柳田 (1970) は昔話の下位類型の先後関係を国際的な類話との比較から導き出し、古典に記録される型が

必ずしも最古のものではないということを示したのである。

ところで、筆者および協力者がカチン地域で蒐集した「姥捨山」の類話は、「畚型」と「枝折型」に相当する。前者は中国を介して我が国とカチンに伝わったと考えれば容易に説明がつくが、後者が日本在来のものであるならば、日本とカチンの類話間の関係は自明ではない。柳田 (1970) が示した「姥捨山」の来歴は、大島 (1979、2004: 124-6) など後の研究でも支持されているが、より最近の研究は「枝折型」が有力な伝承ではないにしても韓国および中国の一部に流布することを明らかにしつつある (斧原 2006; 2014、田畑 2014)。斧原 (2014: 19) は中国大陸の内モンゴル地方と河南省に流布する「枝折型」の昔話と河北省に伝わる類話が「吉林省の朝鮮族の類話を経て韓国江原道の類話へと連絡し、さらに日本列島へとつながっていく」とする。このように東アジアにおける「枝折型」の分布は徐々に明らかにされつつある。一方、東南アジア大陸部に「枝折型」が分布する事実は管見の限りまだ知られていない。

なお、日本の棄老伝説はフィクションであり、事実に基づかないものとされている。柳田 (1970) は「親棄山とはけしからぬ話、聴くも耳の穢れと思ふ人もあらうが、是はさういふ驚くやうな話題を出して、先づ聴く者の注意を引き寄せようとする手だてであつて、実際は人に孝行を勧める話なのである」(p.294) と述べる。同様に、カチンにおいてもこの習俗があったことを示す証拠はない。

2.2 日本とカチンの類話

日本とカチン間の類話は「姥捨山」に限らない。例えば、稲田・稲田 (2010: 18-28) は「花咲か爺」の核心モチーフを持つ「犬むかし」の昔話が、東アジア各地、ベトナム、カチンに認められることを指摘している。また、カチンへの直接の言及はないものの、佐々木 (1982) は西南中国を中心とする照葉樹林帯の山地焼畑民に日本の生活文化の基盤をなす複数の文化特徴が認められることを論じ、その一例としてカチンを含むこの地域に、羽衣伝説、花咲爺、猿蟹合戦、炭焼小五郎、絵姿女房などの類話が伝わることを指摘している (pp.176-9)。筆者および協力者が蒐集したカチン民話にも、大まかな構成やモチーフが一致する類話はいくつか見つかった (筆者および協力者が集めたカチン民話の全データはオンラインで無償公開している。以下の KK1-0022 のような記号は、このコレクションにおける ID である。後述)。

- 「こぶ取り爺さん」の類話 (KK1-0022、KK1-0295、KK1-0352) : 首にこぶのある男が旅に出て、墓地で一夜を明かす。その夜、墓地で霊魂が (または、夢の中である男が)、男からこぶを取る。目が覚めると、こぶが消えていたため、男は喜んで村に帰る。それを聞いた別の男もこぶを消そうと墓地へ行く。墓地で寝ると昨日の忘れ物を持って帰れと言ってこぶを渡される。こうして、男のこぶ

は首の前後に2つになってしまう(倉部 2018 参照)。

- 「舌切り雀」の類話 (KK1-0355) : ある日、娘が稲を天日干ししていると、一羽の腹を空かせた鳥がやって来る。可哀そうに思った娘は鳥に稲をやると、鳥はお礼をするので巣のあるタマリンドの木へ来るよう求める。巣へ来た娘に鳥は大きな箱と小さな箱のどちらを持ち帰るか尋ねる。小さな箱を選んだ娘は金(きん)を手に入れる。それを聞いた隣娘も鳥に稲をやり、タマリンドの木へ行く。土産に大きな箱を選ぶと中には蛇が入っていた。
- 「桃太郎」の類話 (KK1-1838) : 貧しい老夫婦が川へ洗濯に行くと川上から椰子の実が流れて来る。それを持ち帰ると、椰子の実から小人が生まれる。老夫婦は椰子太郎を自分の息子のように育てる。ある日、鬼が国王の娘をさらう。椰子太郎は鳥、蛙、針鼠とともに鬼退治に行く。退治の際、鬼が椰子太郎を握って息を吹くと椰子太郎は人間の青年になる。鬼を退治した椰子太郎は娘を救い、結婚する。

我が国とカチンの間に観察される類話の説明として、伝播、普遍性、偶然の一致など複数の可能性が考えられるが、これを証明することは難しい。「姥捨山」やその他の類話の来歴を知る上で、カチンの周辺地域における類話の流布状況の調査が今後鍵となる。しかし、近年の急速な社会の変容により、民話を保持する少数民族は急速に減少している。カチン人も例外ではなく、テレビやインターネットの普及により、若者の民話を含む口承への関心は薄れつつある。これら多くは記録されていないため、継承が途絶えてしまう可能性が高い。これら無形の文化財はいま記録しなければ、二度とその実態が分からなくなる。

3 データ

筆者は 2009 年から 2017 年にかけてミャンマーにおけるフィールドワークにより、ジンポー語の一次資料を精力的に蓄積した。特に 2016 年からは 3 名の現地協力者の協力を得て、ミャンマーのカチン州において、カチンの伝統民話の大規模な収集を行った。一連の現地調査の成果の 1 つとして、2017 年 3 月 11 日までに、196 名の語り手の協力のもと、計 1,805 話のジンポー語による語りの音声資料(計 157 時間弱)を集積した¹。現在、全データは言語アーカイブ PARADISEC (Pacific and Regional Archive for Digital Sources in Endangered Cultures) で公開されている²。同コレクションでは、音声資料に加え、1,552 話分の書き起こしも公開している(2018 年 12 月時点)。本稿

¹ 一話が複数の音声ファイルに分かれることがあるため、音声ファイル数はこれよりも多い。

² <http://catalog.paradisec.org.au/collections/KK1>

で提示する民話 2 編は、同コレクションから選定したものである。

調査では、筆者または協力者が主にミャンマーのカチン州ミッチーナ市とその周辺においてコンサルタント宅に赴き、語り手の情報の収集と音声の録音を行った。録音では、リニア PCM レコーダー (ZOOM H4n, ZOOM H4n Pro, ZOOM H5) にショットガンマイク (RØDE NTG2, SONY ECM-VG1, audio-technica AT9944) またはラペルマイク (audio-technica AT9904) を接続し、音声を 44.1kHz/16bit または 96kHz/24bit の精度で取り込んだ。調査後、音声ファイル名、録音日、録音地、話者名、年齢、出身地、母方言、運用能力を持つ言語、録音機材などに関するメタデータを作成した。その後、語り手または母語話者の協力を得て音声の書き起こしと翻訳を進めた。

4 本文

本節では民話本文 2 編を語釈と翻訳とともに提示する。柳田 (1970) の類型に基づくと、民話 1 は「枝折型」、民話 2 は「畚型」に相当する。民話 1 は PARADISEC の項目 KK1-1364、民話 2 は項目 KK1-0004 に対応し、それぞれの項目において音声とジンポー語正書法による書き起こしが現時点で利用可能である。なお、本資料は自然発話であるため、繰り返しや言いよどみなどを含むが、原則としてそれらも本文に反映させてある。翻訳は言語研究の利用に供するよう、できる限り原語に忠実に訳した。そのため、日本語としてやや不自然な部分がある。以下で用いるジンポー語の音素表記に関しては Kurabe (2018) などを参照されたい。

4.1 民話 1

本民話は 2017 年 2 月 21 日にカチン州 Waingmaw 市において筆者の調査協力者が行った対面調査により得られたものである。語り手は Hpakant 出身の女性話者 (1989 生) である。調査では、まず、リニア PCM レコーダー (ZOOM H4n) にラペルマイク (audio-technica AT9904) を接続し、音声 (44.1kHz/16bit) を取り込んだ。対面調査後、調査協力者が正書法を用いて音声を文字に書き起こし、後日、筆者が別の調査協力者の協力のもと、翻訳、語釈付与、データの確認作業を進めた。

(1) mòy dàʔ, gə̀thòŋ lə̀ŋây kóʔ cèʔ, nday, gàydá càn ʔnú nà ʔay dàʔ.

long.ago HS village one LOC then well widow 3du mother live DECL HS

昔のことだそうだ、ある村に、あの一、未亡人の母子 (lit. 母を含む彼ら 2 人) が住んでいたそうだ。

- (2) **day cè? cǎn ?nú gəçà gò num lù s-ay dà?**
 that then 3du mother child TOP woman get CSM-DECL HS
 そして、彼ら母子の息子は嫁を得たそうだ。
- (3) **num lù ré ìná, cǎn ?nú ni məsum re ɲà ?ay dà?**
 woman get LV SEQ 3du mother PL three LV live DECL HS
 嫁を得て、彼ら母子たちは3人で住んでいたそうだ。
- (4) **day cəloy cè?, nday, [cǐ? gənam ɲú na] gò gamoy**
 that when then well 3sg.GEN daughter-in-law say NMLZ TOP mother-in-law
phé? grày ú-rá? ?ay dà?
 ACC very NEG-like DECL HS
 そのとき、あの、彼女の義理の娘と言う人は、姑を大変好かなかったそうだ。
- (5) **grày ú-rá? ná cè?, grày ú-rá? ná cè?, nday, cǐ? gəçà phé?**
 very NEG-like SEQ then very NEG-like SEQ then well 3sg.GEN child ACC
?əmyú-myú ɲú ná tsun ?ay dà? lè ?i.
 kind-RED say SEQ say DECL HS SFP SFP
 大変好かず、大変好かず、あの、彼女(姑)の息子に色々と言ったそうだよ。
- (6) **“ná? ?nú phé? gəbày káw gà?” pha-nya day khu ɲú tsun ?ay**
 2sg.GEN mother ACC throw away HORT what-COUP that like say say DECL
dà?
 HS
 「あなたの母を捨てましょう」とかなんとか、そのように言ったそうだ。
- (7) **gənú məcǐ? yàŋ má, tsì má ú-tsí ?ay dà?**
 mother be.sick when also medicine also NEG-treat DECL HS
 母が病気になっても、薬も治療しなかったそうだ。
- (8) **cǎn ləkhòŋ gò tsì má ú-tsí ré ná cè?, cǐ? gənú gò grày**
 3du two TOP medicine also NEG-treat LV SEQ then 3sg.GEN mother TOP very
məcǐ? jùŋ to ?ay dà?
 be.sick be.chronic CONT DECL HS
 彼ら2人は薬も治療せず、彼の母は病気が大変慢性化していたそうだ。

- (9) grày məcí? jùŋ rē jaŋ, nday cè?, cí? gəcà gò gə̀nù “càt cǎ
 very be.sick be.chronic LV when well then 3sg.GEN child TOP mother food eat
 mǎyù ?ay” ɲú tí? mùŋ, ń-jó? cǎ ?ay dà?.

DESID DECL say but also NEG-give eat DECL HS

大変病気が慢性化し、あの、彼女の子供は母が「ご飯を食べたい」と言っても
 食べさせなかったそうだ。

- (10) ləwan-wan si na mətù dà?.

be.fast-RED die IRR for HS

早く死ぬようにということだ。

- (11) cǎn ləkhòŋ gò càt má ń-jó? cǎ ?ay dà?.

3du two TOP food also NEG-give eat DECL HS

彼ら2人はご飯も食べさせなかったそうだ。

- (12) ráy yàŋ gə̀nù gò lə-ní thè? lə-ní məcí? wà ?ay dà?.

COP when mother TOP one-day COM one-day be.sick VEN DECL HS

すると、母は一日一日と病気になって来たそうだ。

- (13) məcí?, ?ùm, grày məcí? ná? wà cè?, lə-ní mi ná ?ətèn thà? cí?

be.sick INTJ very be.sick spend VEN then one-day one GEN time LOC 3sg.GEN

ná mədù?-jan gò day cí? mədù?-wa phé? cè? “sa gə̀bày dá sù?”

GEN host-female TOP that 3sg.GEN host-man ACC then go throw RES IMP

lè ?i.

SFP SFP

病気が、うん、大変病気が続き、ある日、彼の嫁はその彼女の夫に「行って捨て
 ておきなさい」だよ。

- (14) day cǎlòy cè? cí? gəcà gò gə̀nù phé? cè? phay-laŋ ?ay dà?.

that when then 3sg.GEN child TOP mother ACC then carry-carry DECL HS

そうして、彼女(姑)の息子は母を担いで運んだそうだ。

- (15) phay-laŋ ná cè?, ?ó nam dè? phay-laŋ ná cè?, ?è, [gə̀nù
 carry-carry SEQ then over.there forest ALL carry-carry SEQ then INTJ mother
 phé? phay-laŋ ?ay] cǎlòy cè? ?i, phún-ləkyìŋ ləŋây dò? laŋ ?ay
 ACC carry-carry NMLZ when then SFP tree-branch one break carry DECL
 dà?.

HS

担いで運んで、あちらの森へ担いで運んで、えー、母を担いで運んだときだね、
(母は)木の枝を一本折って運んだそうだ。

- (16) [dò? laŋ ré ?ay] ɕəlóy ɕè?, ɕí? gəçà báy wà yàŋ, lam
break carry LV NMLZ when then 3sg.GEN child again return when road
ń-dám na mətʉ nàmlàp ləŋây ləŋây ləŋây phé? jə-khràt màt
NEG-go astray IRR for leaf one one one ACC CAUS-fall COMPL
wà ?ay dà?.

VEN DECL HS

(木の枝を)折って運んだとき、彼女の息子がまた帰るときに、道に迷わないよ
うに(その木の枝で叩いて)木の葉を一つ一つ一つ落として行ったそうだ。

- (17) jə-khràt màt wà, [thó bùm-nam-məliŋ dè? dù ré ?ay]
CAUS-fall COMPL VEN up.there mountain-forest-forest ALL arrive COP NMLZ
ɕəlóy ɕè?, ɕí? gəçà gò gənù phé? sán ?ay dà?.

when then 3sg.GEN child TOP mother ACC ask DECL HS

(葉を)落として行き、あの山の上の森に着いたとき、彼女の息子は母に尋ねた
そうだ。

- (18) “[?nù, naŋ pha-bó? ré ná nday nàmlàp ni pha-bó? ré ná jə-khràt
mother 2sg what-kind COP SEQ this leaf PL what-kind COP SEQ CAUS-fall
to ?ay mâ” ɲú tsun ?ay] ɕəlóy, “[nyé? gəçà báy wà ?ay]
CONT DECL Q QUOT say NMLZ when 1sg.GEN child again return NMLZ
ɕəlóy lam ń-dám ?ùgà? ɲú ná, [?nù gò naŋ phé? day khu gəlo
when road NEG-go astray OPT QUOT SEQ mother TOP 2sg ACC that like do
?ay] rê” ɲú tsun ?ay dà?.

NMLZ COP QUOT say DECL HS

「お母さん、あなたはなぜ、この葉をなぜ落としているのですか」と言ったとき
「私の息子がまた帰るときに道に迷いませんようにと、母はあなたのためにその
ようにしたのです」と言ったそうだ。

- (19) “day, naŋ báy wà yàŋ, dám to jaŋ ?i, naŋ n-ce wà
well 2sg again return when go astray CONT when SFP 2sg NEG-know return
màt na” ɲú ná tsun ?ay dà?.

COMPL IRR QUOT SEQ say DECL HS

「その、あなたがまた帰るとき、道に迷うとですね、あなたは帰れなくなってし
まいます」と言ったそうだ。

- (20) **day cəlóy cí? gəçà gò myìt-məlay lù ìná cè?, cí?, cí? ?nú**
 that then 3sg.GEN child TOP mind-change get SEQ then 3sg.GEN 3sg.GEN mother
phé? báy, báy woy wà ?ay dà?.

ACC again again lead VEN DECL HS

そうして、彼女の息子は心を入れ替え、彼の、彼の母をまた、また連れて帰ったそうだ。

- (21) **báy woy wà ìná cí? ?nú phé? ?á-tsôm cà báy wà**
 again lead VEN SEQ 3sg.GEN mother ACC ADV-be.well only again return
baw ?ay dà?.

take.care.of DECL HS

また連れて帰り、彼の母をよくまた帰って世話をしたそうだ。

4.2 民話 2

本民話は 2016 年 12 月 9 日にカチン州ミッチーナ市において筆者が行った対面調査により得られたものである。語り手はカチン州 Sadung 出身の女性話者 (1943 生) である。調査では、まず、リニア PCM レコーダー (ZOOM H4n) にショットガンマイク (RØDE NTG2) を接続し、音声 (44.1kHz/16bit) を取り込んだ。対面調査後、筆者が正書法を用いて音声を文字に書き起こし、後日、別の調査協力者の協力のもと、翻訳、語釈付与、データの確認作業を進めた。

- (1) **[yá? kháy na] màwmù-y-gà-bo gò [num ni myìt sú rà ?ay]**
 now tell NMLZ story-word-head TOP woman PL mind be.mature need NMLZ
lam.

way

いま話す物語の題目は、嫁は賢くなければならないこと (lit. 道)。

- (2) **num [ń-gəjà ?ay] lù lá yàŋ, [gəniŋ ré ?ay] màŋkhaŋ pru**
 woman NEG-be.good NMLZ get take when how COP NMLZ problem come.out
wà ?ay, diŋkhu kó?, nù màwmù-y-rê.

VEN DECL household LOC say story COP

嫁のよくないのをもらうと、どのような問題が出るか、家庭で、という話である。

- (3) **mòy dàʔ, gəthòŋ ləŋây mi kóʔ num [grày ú-khrák ʔay] num mi**
 before HS village one one LOC woman very NEG-be.good NMLZ woman one
ŋà na rê, ðiŋkhu ləŋây mi thàʔ ʔè.
 live IRR COP household one one LOC SFP
 昔のことだそうだ、ある村に嫁、ある大変よくない嫁がいたようだ、ある家に。
- (4) **[ciʔ ʔàʔ gəgù ðiŋla-wa gò grày ðiŋla, ʔəsàk gəbà**
 3sg.GEN GEN father-in-law old.man-man TOP very be.old age be.big
s-ay] rê dàʔ.
 CSM-NMLZ COP HS
 彼女の舅である老人は大変年老いたそうだ。
- (5) **day wa day gəgù ðiŋla-wa phéʔ num day gənam-jan**
 that man that father-in-law old.man-man ACC woman that daughter-in-law-female
ú-ráʔ.
 NEG-like
 その人、その舅である老人をその女、義理の娘は好かなかった。
- (6) **ciʔ ʔàʔ mədùʔ-wa ʔéʔ cèʔ “nday níŋ-wâ ʔéʔ ʔó nam**
 3sg.GEN GEN host-man ACC then this 2.GEN-father ACC over.there forest
dèʔ, [tsan ʔay] cərà dèʔ, [məçà gəday ú-mú ʔay] cərà dèʔ ʔè sa
 ALL be.far NMLZ place ALL person who NEG-see NMLZ place ALL SFP go
sà káw sùʔ” ɲú, gəçà gò gəwà ʔéʔ n-wam sa sà ʔay.
 send away IMP say child TOP father ACC NEG-dare go send DECL
 彼女の夫に「このあなたの父をあの森に、遠いところに、人が誰も見ないところ
 へ送って行きなさい」と言ったが、息子は父を送る気になれなかった。
- (7) **ráy tím “sa sà sùʔ” cə ʔó-ɲú ɲà jaŋ, kəlàn mi ná gò ʔó**
 COP but go send IMP only HAB-say CONT when once one GEN TOP over.there
məre ɕiŋnom [lòy mi nàw n-tsan ʔay] cərà kóʔ sa tòn dá
 village outskirts a.little one too.much NEG-be.far NMLZ place LOC go put RES
yàn gò, gùy ləŋây mi kán-naŋ ʔay dàʔ.
 when TOP dog one one follow-follow DECL HS
 しかし、「送って行きなさい」とだけいつも言うと、ある時、あの村外れ、少し、
 あまり遠くない場所に行くと(息子が父を)置くと、犬が一匹ついて来たそうだ。

- (8) **gùy day kóʔ, day gəwà dɪŋla-wa gəgù dɪŋla-wa kóʔ sɪn**
 dog that LOC that father old.man-man father-in-law old.man-man LOC guard
ɲà ná cèʔ, [day [çi ʔéʔ sa sà ʔay] gəçà-wa wà màt ʔay]
 CONT SEQ then that 3sg ACC go send NMLZ child-man return COMPL NMLZ
phaŋ ʔè gò, gùy day gò dɪŋla day ʔéʔ gəsòt cú gəsòt, mənəm
 after LOC TOP dog that TOP old.man that ACC drag.feet only drag.feet smell
ɪnà, çɪŋ ɲà jaŋ gò, kóʔsi wà, jan dù wà, kóʔsi wà jaŋ, gùy
 SEQ thus stay when TOP be.hungry VEN sun arrive VEN be.hungry VEN when dog
day mùŋ dɪŋla-wa ròt çəmu-mu jaŋ gò, wà woy s-ay dàʔ.
 that also old.man-man get.up move-RED when TOP return lead CSM-DECL HS
 犬はそこで、その老人、舅のところで見守り、その彼を送った息子が帰った後、
 その犬はその老人の足を引くに引いて、においを嗅ぎ、そのようにしていると、
 お腹が空き、日が暮れ、お腹が空くと、その犬も老人が起きて動くと、帰るの
 を先導したそうだ。
- (9) **day gùy kóʔ kʰán-naŋ wà, myiʔ ń-mú ɲà tím, kəcí-cí gò cèʔ**
 that dog LOC follow-follow VEN eye NEG-see CONT but little-RED TOP indeed
ń-məsòp dám ʔmám ʔi.
 NEG-pat go.astay be.blurred Q
 その犬について行き、目が見えないといっても、少しは手探りで迷いぼんやり
 しながらではなかったか。
- (10) **wà yàŋ gò báy pòt s-ay dàʔ.**
 return when TOP again get.angry CSM-DECL HS
 (老人が) 帰ると (嫁は夫に) また怒ったそうだ。
- (11) **“ńiŋ-wá ʔéʔ [tsan ʔay] dèʔ sa sà ʔùʔ ɲú, [ni ʔay] kóʔ cə**
 2.GEN-father ACC be.far NMLZ ALL go send IMP say be.close NMLZ LOC only
sà ɪnà, yáʔ dáy-náʔ báy dù wà ʔay” ɲú ɪnà pòt.
 send SEQ now this-night again arrive VEN DECL say SEQ get.angry
 「あなたの父を遠いところへ行って送れと言ったのに、近いところにだけ行っ
 て、いま今晚また (老人は) 帰ってきた」と怒った。
- (12) **ráy jaŋ gò læ-ní mi ná gò mədùʔ-wa mùŋ grày myit thùm.**
 COP when TOP one-day one GEN TOP host-man also very mind be.ended
 すると、一日、犬も大変落胆した。

- (13) **day num-jan “níŋ-wâ ?é? ní-sâ káw yàŋ gò, ŋay ní-ŋâ**
 that woman-female 2.GEN-father ACC NEG-send away when TOP 1sg NEG-live
?ay.”
 DECL
 その嫁は「あなたの父を送らなければ、私は(この家に)住まない。」
- (14) **“nday nítâ ŋay ní-ŋâ ?ay” ŋú ìná pòt òà jaŋ gò, “gəwà phé?**
 this house 1sg NEG-live DECL say SEQ get.angry CONT when TOP father ACC
?ó [tsan ?ay] ɕərə dè? sa sà na rê” ŋú ká? ləŋây mi
 over.there be.far NMLZ place ALL go send IRR COP say wicker.basket one one
gəlo ?ay dà?.
 make DECL HS
 「この家に私は住まない」と怒っていると、(夫は)「父をあゝの遠い場所へ行って
 送ろう」と、1つの籐籠を作ったそうだ。
- (15) **gəwà phé? gun na mətu, sa gun sà na mətu, ká? gəlo ná**
 father ACC carry IRR for go carry send IRR for wicker.basket make SEQ
ɕè?, gəwà phé? “?wâ ?è, ?án ?wâ dáy-ní báy ?ó nam-ɕərə mi
 then father ACC father SFP 1du father this-day again over.there forest-place one
dè? sa yu gà?.”
 ALL go CON HORT
 父を運ぶために、行って運んで送るために、籐籠を作って、父に「お父さんよ、
 私たち父子 (lit. 父を含む私たち 2 人) は今日またあちらの森の場所に行ってみ
 ましょう。」
- (16) **“yí?-sún sa yu lét lòy sa mədà yu gà?” ŋú ná ɕè?,**
 swidden-garden go CON SIM a.little go observe CON HS say SEQ then
ká? day kó? baŋ khyén s-ay dà?.
 wicker.basket that LOC put prepare CSM-DECL HORT
 「畑に行ってみて少し行って眺めましょう」と言って、その籐籠に(父を)入れ
 る準備をしたそうだ。
- (17) **baŋ òà jaŋ ɕè?, la-gəçà, ɕí? ?à? gəçù, day gəçà-wa ?à?**
 put CONT when then man-child 3sg.GEN GEN grandchild that child-man GEN
gəçà, gəçù-mà la-gəçà gò mù dət ìná ɕè?, “?wâ yá? day
 child grandchild-child man-child TOP see away SEQ then father now that

ká? day dùy-la phé? sa sà káw jaŋ, ká? day
wicker.basket that grandparent-man ACC go send away when wicker.basket that
khùm káw dá ?yô.”

PROH abandon RES SFP

(父を籠に)入れていると、男の子、彼(老人)の孫、その(老人の)子の子、孫の男の子が見て、「お父さん、いまその籐籠、そのお爺さんを行って送ったら、その籐籠を捨てておかないでよ。」

(18) **“báy gun wà rít.”**

again carry VEN IMP

「また運んで帰ってください。」

(19) **“yá? naŋ ?é? má, nday dzòn re ?əsàk gəbà jaŋ, ɲay báy ?wà phé?**
now 2sg ACC also this like COP age be.big when 1sg again father ACC
gun sà rà na rē.”

carry send need IRR COP

「いまあなたをも、このように年取ったら、私はまたお父さんを運んで送らなければならないのです。」

(20) **“ká? day báy lá wà rít” ɲú òná tsun dət s-ay dà?.**

wicker.basket that again take VEN IMP say SEQ say away CSM-DECL HS

「その籐籠をまた持って帰ってください」と言ったそう。

(21) **ɬəlóy gò myít yu s-ay dà?, gəwà, day mà ?à? gəwà gò.**

then TOP think CON CSM-DECL HS father that child GEN father TOP

そのとき、考えてみたそう、父、その子供の父は。

(22) **“gá, yá? mà ni ?à? man ?è [kəsi ń-gəja ?ay] gəlo na khuráy**
INTJ now child PL GEN face LOC pattern NEG-be.good NMLZ do IRR like COP
s-ay.”

CSM-DECL

「ああ、いま子供たちの前でよくない行いをしようとしたのだ。」

(23) **“?è ń-nú ?è, naŋ thè? ?án gəçà lù khrà ɲà tí? mùŋ, yá? nyé?**

INTJ 2.GEN-mother SFP 2sg COM 1du child get till live but also now 1sg.GEN
?wà phé? naŋ gun sà sù? ɲa.”

father ACC 2sg carry send IMP say

(妻に対して)「おい、母さん、あなたとは私たち2人の子供を授かるまで住んで

いるけれども、いま私の父をあなたは運んで送れと言う。」

- (24) “**yá? sa gun sà káw jaŋ, ?án ?à? gəcà mùŋ ?án ?é? bá y gun sà na**
khu cè? ɲa ɲà ?ay lo.”

like then say CONT DECL SFP

「いま行って運んで送るならば、私たち2人の子供も私たち2人をまた運んで送るといのように言っているよ。」

- (25) “**nday gò n-may na rê.”**

this TOP NEG-be.good IRR COP

「これはいけないだろう。」

- (26) “**naŋ mùŋ ?ó-tsôm myit yu ?ù?.”**

2sg also ADV-be.well think CON IMP

「あなたもよく考えてみなさい。」

- (27) “**naŋ nyé? ?wâ ?é? n-gun sa ń-khró ɲà jaŋ, naŋ mí? ń-ɲú**

2sg 1sg.GEN father ACC NEG-carry go NEG-agree CONT when 2sg but NEG-say
ná, [naŋ tsun ?ay] thè? mərən, naŋ thè? ?án có m khà? rà na
 SEQ 2sg say NMLZ COM same 2sg COM 1du CONTR be.parted need IRR
tay ?ay.”

become DECL

「あなたは(私が)私の父を運んで行かないのに賛成しないならば、あなたは何も言わず、あなたが言った通り、あなたと私たち2人こそが別れなければならない。」

- (28) “**?án gò ɲùn nó? roŋ ?ay.”**

1du TOP power still contain DECL

「私たち2人は力もまだある。」

- (29) “**tam ɟá lù ?ay.”**

look.for eat can DECL

「(自分で食べ物を)探して食べることができる。」

- (30) “**yá? nyé? ?wâ gò [myi? ń-mú ?ay] thè? [n-ce tam ɟá**
 now 1sg.GEN father TOP eye NEG-see NMLZ COM NEG-know search eat
?ay] məjò, ɲay phé? nyé? gəcà ńdán di gun sa na khu rá y jaŋ,
 NMLZ because 1sg ACC 1sg.GEN child thus do carry go IRR like COP when

n-may na rê” nù ìnà tsun ?ay.

NEG-be.good IRR COP say SEQ say DECL

「いま私の父は目が見えず食べ物を探すこともできないので、私をまた私の子供がこのようにして運んでいくようならば、いけません」と言った。

(31) **day cəní kó? ná num day grày myìt yu s-ay dà?.**

that day LOC ABL woman that very think CON CSM-DECL HS

その日から、その嫁はよく考えるようになったそうだ。

(32) **“?è, ráy na rê, n-may na rê.”**

INTJ COP IRR COP NEG-be.good IRR COP

「ああ、そうだろう、いけないだろう。」

(33) **“yá? ?án ?é? báy ?án ?à? gəcà day khu gəlo wà yàŋ gò, n-may**

now ldu ACC again ldu GEN child that like do VEN when TOP NEG-be.good
na rê” nù myìt-məláy lù ìnà, day cəní kó? ìnà num day gəgù

IRR COP say mind-change like SEQ that day LOC ABL woman that father-in-law
phé? ?ó-tsôm di ná, báy tsó?-rà?-khúŋgâ lèt woy nà ìnà, dīŋkhu

ACC ADV-be.well do SEQ again love-like-respect SIM lead CONT SEQ family
day thà? [pyo ?ay] dīŋkhu de lù mà? ?ay dà?.

that LOC be.happy NMLZ family build can PL DECL HS

「いま私たち 2 人をまた私たち 2 人の子供がそのようにするようになったらいけないだろう」と心を入れ替えて、その日からその嫁は舅をしっかりとまた愛し敬いながら導いて、穏やかな家族を築くことができたそうだ。

(34) **day [mòy ná ni tsun ?ay] màwmùy rê.**

that before GEN PL say NMLZ story COP

これは昔の人々が語った物語だ。

(35) **dan ŋa ləŋây mi.**

thus say one one

このように言うの (物語) が 1 つ。

記号・略号

-	morpheme boundary	GEN	genitive
[]	nominalized clause boundary	HAB	habitual
1	first person	HORT	hortative
2	second person	HS	hearsay
3	third person	IMP	imperative
du	dual	INTJ	interjection
pl	plural	IRR	irrealis
sg	singular	LOC	locative
ABL	ablative	LV	light verb
ACC	accusative	NEG	negative
ADV	adverbializer	NMLZ	nominalizer
ALL	allative	OPT	optative
CAUS	causative	PL	plural
COM	comitative	PROH	prohibitive
COMPL	completive	Q	question
CON	conative	QUOT	quotative complementizer
CONT	continuous	RED	reduplicant
CONTR	contrastive	RES	resultative
COP	copula	SEQ	sequential
COUP	couplet	SFP	sentence-final particle
CSM	change-of-state marker	SIM	simultaneous
DECL	declarative	TOP	topic
DESID	desiderative	VEN	venitive

参考文献

- 稲田浩二編 (1998) 『日本昔話通観 研究篇 2：日本昔話と古典』 京都：同朋舎。
 稲田浩二・稲田和子編 (2010) 『新版 日本昔話ハンドブック』 東京：三省堂。
 大島建彦 (1979) 「姥棄山の昔話と伝説」 三谷栄一・国東文磨・久保田淳 (編) 『論纂説話と説話文学：西尾光一教授定年記念論集』 479–522. 東京：笠間書院。

- 大島建彦 (2001) 「姥捨ての伝承」『日本文学文化』 1: 2–18.
- 大島建彦 (2004) 『日本の昔話と伝説』 東京：三弥井書店.
- 斧原孝守 (2006) 「姥棄山・枝折り型の来歴 — 柳田國男の「親棄山」から」『比較民俗学会報』 27.3: 16–20.
- 斧原孝守 (2014) 「姥棄山・枝折り型の来歴 (補遺)」『比較民俗学会報』 35.2: 17–20.
- Kurabe, Keita (2018) Deaspiration and laryngeal specification of fricatives in Jinghpaw. *Gengo Kenkyu* 153: 41–55.
- 倉部慶太 (2018) 「ミャンマーの「こぶ取り爺さん」：ジンポー語による民話テキスト」『アジア・アフリカ言語文化研究』 95: 181–200.
- 佐々木高明 (1982) 『照葉樹林文化の道：ブータン・雲南から日本へ』 東京：日本放送出版協会.
- 田畑博子 (2014) 「棄老説話 (難題型) の源流」『口承文芸研究』 37: 54–64.
- 南方熊楠 (1918) 「棄老伝説に就て」『土俗と傳説 第壹卷第壹號』 文武堂店.
- 三原幸久 (1977) 「姥棄て山」 稲田浩二・大島建彦・川端豊彦・福田晃・三原幸久 (編) 『日本昔話事典』 110–111. 東京：弘文堂.
- 柳田國男 (1970) 「親棄山」『定本柳田國男集 21』 294–305. 東京：筑摩書房. 初出：柳田國男 (1945) 「親棄山」『少女の友 三八卷二～三号』
- Reider, Noriko T. (2011) “Hanayo no hime,” or “Blossom Princess”: A late-medieval Japanese stepdaughter story and provincial customs. *Asian Ethnology* 70.1: 59–80.

“Ubasuteyama” of Myanmar: Folktale texts in Jinghpaw

Keita Kurabe

Abstract

This paper offers two fully-analyzed folktale texts in Jinghpaw, a Tibeto-Burman language spoken in northern Myanmar and adjacent areas of China and India. The present folktales are selected from 1,805 Jinghpaw narrative recordings (ca. 157 hours in total) with 1,552 transcriptions (as of December 22, 2018) archived at PARADISEC. They were collected in Myanmar by the author and local collaborators between 2009 and 2017 with the help of 196 native narrators. The present texts are of significance in that their storylines are similar to those of the popular Japanese traditional folktale “Ubasuteyama.” Since Kunio Yanagita 1945 [1970], it has often been recognized that the folktale has four versions, known as the “basket-type,” “difficulty-type,” “fortune-type,” and “broken branch-type.” The former two are considered to be of foreign origin and the latter two of Japanese origin. The folktales we collected in Myanmar correspond to the “basket-type” and the “broken branch-type.” This fact may suggest a new interpretation of the diffusion of the story.

受領日 2018年9月19日
受理日 2018年12月31日